

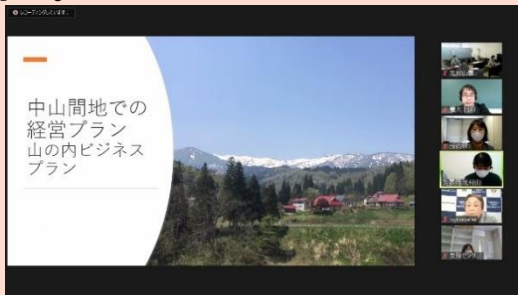
- 山形県の農業就業人口の45.3%は女性であるが、高齢化が進行しており、40歳未満の女性農業者はわずか2.1%のみ。**地域農業活性化のため若い女性農業者の育成**が必要。
- 若い女性農業者は孤立しがちで、**生産現場で女性が一層活躍できる環境づくりを支援し、女性の農業分野における活躍の促進**が必要。
- **若い女性限定の経営講座の開設。優良事例集の作成、広報。**
- **若い女性農業者(12名)がビジネスプランを作成。経営力・営農意欲が向上。地域における仲間づくりが進展。**

## 具体的な成果

## 目標を達成するための普及活動

### 1 若い女性農業者のビジネスプランの作成による経営力・営農意欲の向上

- 若い女性農業者のビジネスプランの作成を支援し、12名が作成・ビジネスプランの作成とプランの実現に向けた実践支援を通し、将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力・営農意欲が向上。



R2年度はリモートで開催

### 2 女性農業者が活躍できる環境整備

- 地域内で気軽に悩みを相談し合える仲間の認知と交流促進のため、地域毎の交流会と県域の研修会を開催。



### 3 女性農業士の増加

- 平成27年度34名→令和2年度60名

### 1 若い女性限定の講座の開設

#### ■ ビジネスプランの作成を支援

- ・講義とともにグループ討議や個別演習、「ビジョンコラージュ」の制作等女性が取組み易い講座の工夫
- ・先進的な女性農業者の視察研修
- ・先進的な女性経営者のもとで、インターシップの実施
- ・女性限定の農業機械管理、操作研修

#### ■ ビジネスプラン実現に向け、総合的な個別支援の展開

- ・受講生毎に技術担当と経営担当の普及指導員を配置。

### 2 地域で活躍する若手農業者を広く紹介

- 中学生向け農業の啓発パンフレットを作成。キャリア教育で活用できるように県内の中学2年生に配布。

### 3 女性農業者のネットワークづくり支援

- 県内4地域毎に農業女子会を開催。1地域10名程度の小人数で気軽に悩みを相談し合える仲間づくりの場の提供。

## 普及指導員だからできたこと

- ・定期講座を補完する形で、受講生の相談、現地指導、ビジネスプランの作成支援等きめ細やかなフォローアップを実施。

山形県

## 輝くアグリウーマンの育成

活動期間：平成28～令和2年度

### 1. 取組の背景

山形県の農業就業人口の45.3%は女性であるが、高齢化が進行しており、40歳未満の女性農業者はわずか2.1%のみであり、地域で若い女性農業者は孤立しがちである。

一方、農業発展のためには、消費者志向を踏まえた生産・販売、加工品開発等、女性ならではの柔軟な発想による農業経営の展開が必要である。

そのため、女性農業者の活躍が不可欠であり、経営管理能力の向上を支援するとともに、関係機関と連携し、女性農業者が活躍しやすい環境の整備と女性農業者の増加に向けた取組み及び育成が必要である。

### 2. 活動内容

#### (1) 女性限定の講座を開設

##### ①アグリウーマン塾の開催

県全域から意欲的に経営に参画している若手女性農業者を募集し、年5回のビジネスプランを作成する講座を開催した。

講師は、中小企業診断士に依頼した。

・修了生の取組み事例を紹介し、それを題材にしたグループ討議や個別演習、「ビジョンコラージュ」の作成等女性が取組み易いよう講座内容を工夫した。

・イメージしやすいように修了生からビジネスプランの進捗状況報告、事例紹介をしてもらった。

・定期講座のほか、オプション研修として先進的な女性経営者の基でのインターンシップを実施した。

②女性限定の農業機械管理、操作研修を開催した。

③普及課では、受講者毎に技術担当と経営担当の普及指導員を支援担当者として配置し、支援体制を整備した。

ビジネスプランの作成を支援するとともに、その実現へ向け、総合的な個別支援を展開した。



また、塾修了生のさらなる経営力向上とビジネスプランの実現を支援し、各自の農業経営と地域での活躍を後押しするため、フォローアップ研修を実施した。

## **(2) 地域で活躍する若手農業者を広く紹介**

将来の職業について考える「キャリア教育」を始める中学生向けに「農業」の魅力を伝える啓発パンフレットを作成。県内の中学2年生に配布した。

## **(3) 女性農業者のネットワークづくり支援**

女性が活躍しやすい環境を整えるため、公益財団法人やまがた農業支援センター内に女性のネットワークづくりを支援する窓口を設置。

電話相談のほか、県内各地域において研修会、交流会の開催を通じた女性のネットワークづくりを支援した。



## **3. 具体的な成果**

### **(1) 若い女性農業者のビジネスプランの作成による経営力・営農意欲の向上**

12名がビジネスプランを作成し、プランの実現に向けた実践支援を通し、将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力・営農意欲が向上した。若い女性農業者同士の交流が図られ、仲間づくりが進展した。

### **(2) 女性農業者が活躍できる環境整備**

地域内で気軽に悩みを相談し合える仲間の認知と交流促進を図るため県内4地域で研修会・地域学習会の開催を通じた農業女子会を開催。1地域10名程度の小人数で開催したことにより、気軽に悩みを相談し合える仲間がいる安心感、相互研鑽、農業に関するモチベーションが向上した。

また、月2回程度、希望者にメール配信を行うことで、研修会や県の支援事業のタイムリーな情報共有が図られた。

### **(3) 女性農業士の増加**

地域のリーダーとなる女性農業士が34名から60名と増加した。受講生からも青年農業士が誕生した。

## 4. 農家等からの評価・コメント

父の手伝いで始めた農業であったが、次第にやりがいを感じ、農業を仕事にしたい！と強く思うようになった。そんな時にアグリウーマン塾のことを知り、良いチャンスだと感じ受講した。

塾では、毎回、講師の先生の分かりやすい指導のもと、経営について楽しく学ぶことができた。既に農業を仕事とし、生き生きと活躍されている受講生の皆さんたちとも出会うことができ、とても良い刺激になった。今後のビジョンも明確にすることができ、アグリウーマン塾に参加して本当に良かったと感じている。

(受講生 舟形町 門脇あゆみ 氏)

## 5. 普及指導員のコメント

アグリウーマン塾は、女性農業者にとって、忙しい日常の中で少し立ち止まり、経営を俯瞰して考える貴重な時間となっている。特に、経営目標や自身の夢を画像で表現するビジョンコラージュづくりでは、他の受講生と交流しながら楽しく取り組み、将来なりたい姿を明らかにした。

また、塾で学んだことを、家に帰ってから家族の中で話題にすることで、我が家の経営をこれからどう発展させていくのか、家族全員で考える良い機会にもなっている。

今後も、塾生の相談に乗りながら、経営目標の達成に向けた支援を行っていく。

(最上総合支庁農業技術普及課 田口奈津子)

## 6. 現状・今後の展開等

### (1) 若い女性限定の講座の開催を継続

アグリウーマン塾1～5期生のフォローアップ研修の実施に加え、「次世代リーダー育成セミナー」を実施し、女性農業者の経営改善、経営感覚をサポートしていく。同セミナーにおいては、Webを利用した研修も取り入れ、夫婦や家族等での受講も推進していく。

### (2) 中学2年生に対し、農業の啓発ガイドブックを作成

H29年度に作成した啓発ガイドブックをWeb版としてリニューアル作成し、「キャリア教育」の一環として、中学校2年生向けに、いきいきと活躍する女性・青年農業者の姿を発信することで、農業への理解を深め、農業

が「魅力的な職業」であることを伝えることにより、将来の職業選択肢の1つとなり、新規就農者の拡大につなげる。



### (3) 女性農業者の働き方改革支援

引き続き、県内各地におけるネットワークづくりや女性農業者グループ等の活動支援を通し、働きやすい環境づくりに取り組む女性農業者を支援する。